

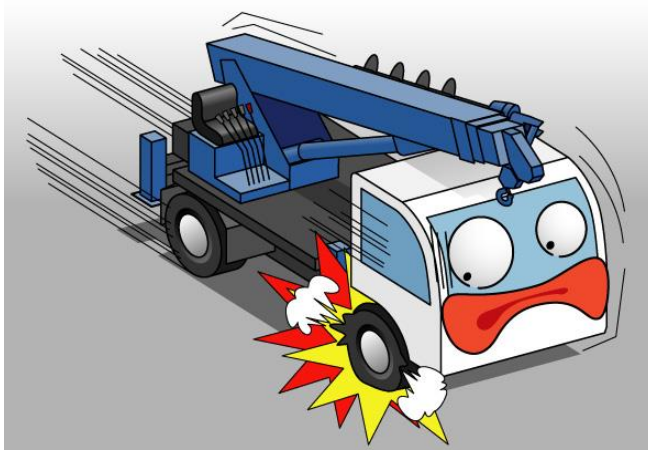
事故事例

走行中にタイヤバースト

穴掘建柱車・高所作業車
汎用架装トラッククレーン

事故発生状況

高速道路を走行中 右前タイヤがバーストして路肩に接触した。



原因

タイヤの点検不良と考えられます。

対策

日常点検の徹底 道路運送車両法により『使用者の点検及び整備の義務』が規定されています。

穴掘建柱車や高所作業車は、一般のトラックと比較して車両重量が重いため、特に注意してタイヤの点検をしてください。

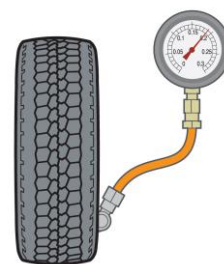
空気圧 ……タイヤが冷えた状態で、エアゲージを使用して空気圧を測定し、適正空気圧で管理してください。

※タイヤの空気圧は、運転席ドアの開口部、後側に貼り付けているタイヤ空気圧表を参照してください。

偏摩耗 ……偏摩耗の発生を防止するため、タイヤの定期的なローテーションを行ってください。

外観 ……傷やヒビ割れ、盛り上がりなど、タイヤの継続使用が可能か確認してください。
※傷が内部のコードに到達するものを発見した場合は、交換してください。

溝深さ ……タイヤの溝深さを確認し、スリップサインの有無を確認してください。
※一部でもスリップサインの現れているタイヤは、交換してください。



○長期期間使用したタイヤは、溝深さが使用限度に達していなくても、ゴムの劣化によりバーストを招く可能性があります。

点検の詳細は、タイヤ販売店にご相談ください。